

教職大学院学校管理職養成コース派遣教員（M1）と岐阜県教育委員会との懇談会を開催しました

令和5年12月15日（金）に、岐阜県教育委員会から岐阜大学教職大学院学校管理職養成コースに派遣されている現職教員の1年院生15名が、本学が主催する教育委員会との懇談会において開発実践報告の進捗状況報告を行いました。教育委員会からは、浅井教育主管、高橋教員人事管理監、小野島課長補佐が参加しました。

開発実践報告とは、学校や地域から委託された教育課題を解決するための実践の開発を通じて、学校課題解決力の向上を目指します。今回は、1年間の大学院での学びを通して、教育課題をどのように捉え、解決策を考えているかを報告しました。教育委員会の先生方からは、「各テーマは今日的な課題である」「管理職の役目は教職員が負担なく、楽しく仕事をできるようにすることである」「計画をさらに持続可能性、発展性、汎用性から向上させて欲しい」「今後、教職員の協力を得て本計画を実践していくために、なぜ本計画が必要なのかを学校の良さを生かしながら、成果がわかるように伝えて欲しい」等の助言と温かい励ましをいただきました。

本懇談会は、教職大学院の学修を管理職の視点として捉え、学校や地域に役立つものにするための貴重な機会となりました。



懇談会の様子